

魚津市スマートシティ推進基盤構築業務に係る公募型プロポーザル
質問回答書

Q GPS センサー活用による車両稼働状況可視化業務について

仕様書に、「除雪車・ごみ収集車に GPS センサーを設置」とありますが、それぞれ何台を想定しておけばよいか。

また、全般的に仕様書では、「概ね次のとおり」と記載されており、特定の通信方法やデバイスに限定されていない書き方になっています。GPS センサーも、予算的に収まれば LPWA ではなく LTE 仕様でも問題無いでしょうか？

A 除雪車 4 台、ごみ収集車 6 台設置することとします。また通信方法やデバイスは特定のものに限定するものではありません。GPS センサーについても、LPWA に限定するものではありません。ただし台数が増えることを想定して、通信費はできるだけ抑えられる方式を希望します。

Q IoT プラットフォーム構築期間について

実施要領では、契約締結が令和 4 年 7 月 29 日（予定）と記載されています。仕様書では、車両稼働状況可視化システム（ごみ収集車）が 10 月 1 日稼働とされていますので、実質 IoT プラットフォーム構築期間が 2 か月間となります。契約締結時期が、大きく後ろにズレ込まない前提と考えてよいか。

A お見込みのとおりです。

Q オープンデータ等とのデータ連携について

国・県などの他団体保有のオープンデータや公開サイトの情報で、使えそうなものについて、ご提案させていただき想定でいる。

魚津市との協議の結果、データ連携（又は参照）するとなった場合には、魚津市から情報保有団体にデータ連携（又は参照）のお願いをしていただけるものと思っております。

A 情報保有団体へのデータ連携依頼は魚津市にて行います。

Q 河川水位監視システムについて

個別業務仕様書 の機器仕様 において、

- ・水位計測範囲（0～9 m）
- ・分解能（表示水位 1 mm）

とは、超音波式、もしくは圧力式の水位センサーで計測範囲（0～9m）を精度 1mm で計測可能な、十分な実績のある機器という理解でよろしいでしょうか。

A 分解能は、センサーの最小計測単位です。

Q 河川水位監視システムについて

個別業務仕様書の機器仕様において、

- ・計測間隔（通常時60分、閾値超過3）
- ・平均処理（取得情報 1s~120s の範囲平均化 処理機能）

となっていますが、現在各自治体にて導入が進んでいる国土交通省仕様準拠危機管理型水位計の仕様と今回貴市が導入予定の箇所を考慮して以下の仕様で機器提案でもよろしいでしょうか。

- ・計測間隔（通常時10分、閾値超過2分）
- ・平均処理（取得情報 20s の範囲平均化 処理機能）

A 良しとします。但し、太陽光発電利用の運用に支障がない前提としてください。
（満充電で、悪天候が続いても7日間稼働すること）

Q 積雪深監視システムについて

個別業務仕様書における内容において、積雪深センサー（カメラ付き）は、一体型機器での提案と理解してよろしいでしょうか。

A 個別業務仕様書に記載しました仕様を満たす機器であれば、別体（センサーとカメラが別となるもの）でも構いません。

Q 積雪深監視システムについて

個別業務仕様書における 設置場所において、センサー6箇所、カメラ9箇所に設置することありますが、カメラのみ設置場所3箇所は、センサーの通信方式 LPWA の電波伝搬環境が悪いことに起因してるかと推測いたします。

つきましては、一体型機器（LTE）で9箇所の提案を考えておりますがよろしいでしょうか。

A 個別業務仕様書に記載しました仕様を満たす機器であれば、問題ありません。

Q 車両稼働状況可視化 システム について

個別業務仕様書における内容において

- ・送信頻度（1分~1440に回対応）とありますが、位置情報の履歴表示において経路を罫線に表示する際にできるだけ道路に沿った罫線を描く必要があり、このため送信頻度（1秒に1回対応）での仕様を満たす機器の提案でよろしいでしょうか。

A 良しとします。ただし台数が増えることを想定して、通信費はできるだけ抑えられる方式を希望します。